

# 基老連 ニュース

#81号

## 基老連の目的

ボケ防止のために、老人団体同好者の誰もが  
「基老連」でつながりながら、機会と場所  
を確保するために相談話し、連絡を通じて親睦  
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢  
献することを目標とする。

発行日	平成8年10月8日
発行所	八王子の基老連会員大連合
〒	193 八王子市初沢町1434-46
TEL	(0426) 66-3754
発行人	熊崎正一

## 南大沢福祉センター開館記念基老連大会

日 時  
会 場  
主 催  
後 援

平成8年10月5日(土曜日)午前9時  
南大沢福祉センター(南大沢2-27, 電79-2205)  
八王子の基老連会員大連合(基老連)

参 加 資 格  
参 加 費  
競 技 方 法  
競 技 成 績

八王子市、日本棋院  
南大沢福祉センターの周辺内(南大沢、由木中央、由木東、  
北野、由井地区)に在住している基老連会員及び“南大沢  
由木中央、由木東地区内の級位者(10級以上)  
600円(年会費代を含む)  
5クラス別に入賞者(3位まで)を決定し、賞状及び副賞を授与する。  
次の通り(次第順)



八王子市長 彼弓野健雄様の挨拶

A 7手以上(4手以上)成績表										手数
優	勝	成	績	手	数	手	数	手	数	手
三	位	決	定	成	績	手	数	手	数	手
十三	立	四	大	手	数	手	数	手	数	手
佐	木	谷	川	手	数	手	数	手	数	手
木	木	木	木	手	数	手	数	手	数	手
一	レ	レ	レ	手	数	手	数	手	数	手
印	印	印	印	手	数	手	数	手	数	手
1	2	3	4	手	数	手	数	手	数	手
311112	1023	212	321	手	数	手	数	手	数	手
0000000000	XX00000000	XX00	XX00	手	数	手	数	手	数	手
山不吉佐	信者夷	鏡山谷	篠佐	早松伊	対局	吉田	対局	吉田	対局	吉田
木成江原	谷金原	木本	川浦原	川浦原	川浦原	川浦原	川浦原	川浦原	川浦原	川浦原
0X000X0XXX00	00X00000000	00X	00X	00X	00X	00X	00X	00X	00X	00X
何山佐	早谷松山吉	鏡	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田
良民木木川原浦本成食	木成食	田井	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田	飯田
0X0X0X0X0XX0	XX00000000	XX0	XX0	XX0	XX0	XX0	XX0	XX0	XX0	XX0
篠佐山伊暮	暮者深信者	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山	吉澤山
木木尾澤田谷	澤井江原食	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田	木澤田
181716151813121110927654321NO										
佐金伊山鬼暮者越信澤	澤奥谷山鏡新松早吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
木木尾澤尾谷田澤	澤江井山原本倉浦川成	川成	川成	川成	川成	川成	川成	川成	川成	川成
良渠深渚一高好夏	和正金正花辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰	辰
豪早一復郎尾美幸俊松也	也延火寺寿英進	英進	英進	英進	英進	英進	英進	英進	英進	英進
46764544778447784477844667										

B 7手以上(2手-3手)成績表										手数
優	勝	成	績	手	数	手	数	手	数	手
三	位	決	定	成	績	手	数	手	数	手
十三	立	四	大	手	数	手	数	手	数	手
佐	木	中	村	手	数	手	数	手	数	手
木	木	中	村	手	数	手	数	手	数	手
一	レ	レ	レ	手	数	手	数	手	数	手
印	印	印	印	手	数	手	数	手	数	手
1	2	3	4	手	数	手	数	手	数	手
1022311313121212212311	122123111	122123111	122123111	手	数	手	数	手	数	手
XXX00000000000000	XX00000000000000	XX00000000000000	XX00000000000000	手	数	手	数	手	数	手
福佐食内植野善	善野山城田久和	和中稻江水	水木森野志片	片對局	對局	對局	對局	對局	對局	對局
久	久	久	久	手	数	手	数	手	数	手
日木田山松吉木谷本足源田	源田村西野原田國	國原田日根田國	國原田日根田國	國	國	國	國	國	國	國
XX0000XX00000000	XX000000000000	XX000000000000	XX000000000000	手	数	手	数	手	数	手
植水久墨和	和不野山植田国	國木片山城中佐吉	吉中佐吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
私保不高國田	田郭本日田原田	原田原田日本田	日本田	田	田	田	田	田	田	田
00000000000000	00000000000000	00000000000000	00000000000000	手	数	手	数	手	数	手
不唐日水佐黄島食片	片中植竹野高山内久吉片	片吉不善大和	和大和	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
我	我	我	我	手	数	手	数	手	数	手
良不善木日植野郭佐原田本山保山田原日本野	野日本山保山田原日本野	日本山保山田原日本野	日本山保山田原日本野	野	野	野	野	野	野	野
21232423221201918171615143121110927654321NO										
福善益木田植野佐野山福久内片吉木吉松森城大	大和源正良國俊邦萬本日保山山河源日本足	源日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足
地不保野日木田植野村田國松御室萬本日保山山河源日本足	源日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足
良	植	野	國	俊	邦	萬	本	日	保	山
大和源正良國俊邦萬本日保山山河源日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足	日本足
320322322323232322232223232323222232223										

## C 7人(初級・準初級)成績表

平選

勝	敗	勝	敗	勝	敗	勝	敗	勝	敗
3	0	2	2	2	2	2	0	3	2
0	X	X	④	X	0	0	X	⑥	0
新	堺	便	不	戦	部	子	谷	本	不
橋	田	因	不	戦	井	田	菊	田	辺
益	古	⑦	0	X	0	X	X	0	⑧
子	川		不	戦	細	横	田	菊	田
0	X	0	X	0	X	0	X	0	X
横	綾	新	益	五	城	田	高	由	木
綾	田	綾	古	川	子	井	田	松	菊
綾	田	綾	高	井	子	井	田	本	地
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7
横	綾	細	花	西	都	古	益	田	堀
綾	田	綾	花	都	古	益	田	堀	木
田	花	谷	尾	橋	綾	川	子	井	田
利	精	光	年	之	作	好			
治	正	年	之	作	好				
治	正	董	中	人	雄	中	三	功	正
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
横	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

優勝戦

横田

草履場

三位決定戦

松本

松本  
本国  
猪  
時  
正

横田

草履場

松本  
本国  
猪  
時  
和  
初

優勝戦

川

草履場

三位決定戦

横又

川

草履場

横  
田  
又  
起  
三  
師  
萬  
2  
2横  
田  
國  
又  
起  
三  
師  
萬  
2  
2

勝	敗	勝	敗	勝	敗	勝	敗	勝	敗
3	2	2	1	1	0	2	1	2	1
0	0	0	X	X	X	0	X	0	X
横	岸	野	石	吉	国	久	田	久	11
田	本	村	坂	田	頭	鐵	中	保	勝
0	0	X	0	X	X	0	0	0	X
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
横	林	村	頭	本	我	又	田	口	保
0	X	⑥	X	0	X	0	X	0	X
日	陽	波	井	久	新	川	井	舌	岸
中	又	又	又	又	又	又	又	又	又
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
横	田	三	武	新	久	井	川	岸	吉
又	中	又	中	又	中	又	井	松	中
23	22	22	22	22	22	22	22	22	22

(3)

Eクラス(5級~10級)成績表

		予選										順位	
		優勝					敗戦						
		0	1	1	3	2	0	2	3	2	2	1	計
三位決定戦		X	X	X	0	0	X	X	0	0	0	X	順位三
三位決定戦		小細坪	尾嶋	野奥	有	須	安	大	山	大	山	四	
三位決定戦		坂谷内	家村	口田	辻木	連木	若	高	田	高	田	五	
三位決定戦		X	X	0	X	0	X	X	0	C	X	一	
三位決定戦		大野尾	嶋	安	細	鈴	坪	小	美	嶋	奥	二	
三位決定戦		田	間	連	谷	木	内	坂	神	田	若	三	
三位決定戦		X	0	X	0	0	X	0	0	X	0	四	
三位決定戦		安	有	嶋	奥	美	小	美	大	坪	細	五	
三位決定戦		有	間	連	安	鈴	坪	大	坪	嶋	田	六	
三位決定戦		連	地	田	村	連	坂	家	谷	内	谷	七	
三位決定戦		14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
三位決定戦		小	細	坪	小	野	鈴	小	安	嶋	大	細	嶋
三位決定戦		谷	間	内	坂	間	田	連	木	田	谷	内	谷
三位決定戦		政	和	深	次	政	和	鈴	深	和	政	良	名
三位決定戦		天	次	次	次	天	次	行	次	雄	次	君	君
三位決定戦		5	1	7	6	5	6	5	6	7	5	6	5

南大沢福祉センター開館記念用基大会を顧みて

大会委員長としての挨拶で「市長さんの御臨席に誠に嬉しい」と申し上げました。唯々感情の趣くまゝに表現いたしました。

市長さん本日御祝辭で、基走連の業績は承知であります。「猿崎は良人かつて石上とお猿の言葉を復讐しました。」有難いと思っておりまつ。

参加者の皆さんにとっては、予想外の幸だったようで、「市長さんの御出席は始めて誠に結構な幸だ」と木瀬委員長が迎えられていましたとお印象的でした。

今回の記念大会に際し、市長さんより「御祝」を復讐した幸と、福祉センター入り賞者全員に「副賞」の御提供を受けた事を御報告させて頂きました。どうも有難うございました。

又、特に、センターの方々の心の籠つた暖かい御辭を振りに付、ほんと感服の極みで、参加者全員が代表して心から御礼を申上げます。始めての経験ですが、今大会の副委員長は、鈴木良平(鈴木)、山本徳美(北野)、鷺山和英(由井)、堀の名酒園基同様会長に御願い致しましたが、競技委員会、始めて、総合企画室の佐藤室長、審議事務課長と佐藤、美田西参考、審判長は地元の川中島氏で賞状記念休例により鈴木良平が担当副会長等に大いに運営され、御能様で大好評裡に終了する事が出来ました。御同慶の至りです。(猿崎)

### オフ団体対抗戦の優勝決定戦

オフ団体対抗戦は、美川チームと由井チームが「勝率」で同率となり、9月15日に優勝決定戦を行いましたが、下記のような成績で、由井チームが優勝しました。おめでとうございます。

尚、優勝カップの贈呈式は、10月20日の基連同基大会の席に借りて淳行致しましたので御了承下さい。

### オフ団体対抗戦の優勝決定戦(8回戦9月15日)

名前	由井	6	5	4	3	2	初	勝計
高橋洋介	高橋洋介	1	2	3	上	6	森田	5
久東田一	X		0.	0				2
久神富寺	0	0	0					3
久藤田	X		0	X				1
久吉田					X	X	X	0
久中島					X	X		1
久利久					X	X	X	0
勝計	1	3	2	3	3	2	11	7

### 由木地域の「基の会員募集」に関する件

従来より、由木地域には由木中央、由木東地区に寿連基同好会(有能)が設立し、市民センターを会場として利用致しております。

然るに、2010年に南大沢市民センターが閉館されたためには、南大沢再開基同好会の設立が要請され、12月に開設方が予定して準備を進めておりましたが、新規会員の募集は非常にむつかしく、通常ではアピール・寒暄な作業と云ふのが何が困りません。

過去において、市の公報や新聞の開催広告欄等を利用してましたが、老人団僚では個人で効果がありませんでした。

平成3年当時、基連主催にて、純益を福祉センター開館記念祝賀基大会を開催するため、八王子全市の9地区(会場、市民センター)で予選大会を開催するべく、八王子市、八王子教育委員会、八王子町会基連会、住民協議会、財団法人日本棋院等の団体様を頼り、「不景気防止のための基連開基大会」と銘打つて開催用チラシ3万5千枚を作成し、全町会・老人会に配布致しました。

その結果は、9地区大会で申込人444人を発表し、成果が認められました。

今回ヒルの例に倣い、回覧用と掲示用のチラシを作成し、由木中央、由木東、南大沢の各住民協議会及び老人会の支部を通じて配布することに致しました次第であります。

尚、「基の会員募集」のチラシ原本は、次第に掲示致しました。(以上)



## 暮の会員募集

(60才以上の有効者)



暮老連では、ボケ防止のために 墓爱好者の誰もが  
気楽に墓を打ちまく、八王子全市の老人会に墓部の開設を要請する運動を来年度より開始し、  
翌創立10週年に完了する予定と見ております。

従つて、暮老連傘下の13地域の寿園墓同好会(市民  
センター、及伏市の事務所利用)の会員(現在339名)を  
普及員として勤員し、積極的な活動を展開する所存です。

然しながら、由木地域では、10月に南大沢市民センター  
が開館されたため、由木中央寿園墓同好会より南大沢、  
別所、松木、鎌水地区等の会員を分割することへなつており、  
その結果、どちらも会員不足のため、会の維持が困難な  
状態となつてしましました。

よつて、改めて、由木中央、由木東、南大沢の3地区外に  
在住している60才以上の有効者を下記により緊急  
募集を行うことへなりましたよう次第です。

### 記

1. 会費は月額200円×借室料。
2. 希望者は下記会場で直接脚印を  
下さい。



ボケ防止のために墓を打ちまく

(6)

→ [ボケ防止のために書体が変更されました]



(1), 由木中央寿園墓同好会

会場 由木中央市民センター

(千葉木641, 電76-8423)

(2), 由木東寿園墓同好会

会場 由木東市民センター

(鹿島111-1, 電75-5911)

(3), 南大沢寿園墓同好会 (12月設立予定)

会場 南大沢市民センター

(南大沢2-27, 電79-2209)

新設のため12月より受付開始

(4), 例会日は, 毎月オ2, オ3, オ4日曜日の午後1時～5時

### 暮老連研修会員募集

(60才以上の級位者)

来る12月より南大沢福祉センター(南大沢2-27, 電79-2205)において, 定員制による研修会を開設致しましたので, 60才以上の級位者(10級以上)は下記における御申込み願いの方。

1, 研修日は, オ2, オ3, オ4土曜日の午後1時～4時。

2, 会費は月額200円。

3, 希望者は, 研修会場で直接御申込み下さい。

(7)



第10回碁道連研修会開幕大会(平成18年9月21日) (別記A1号)

A 7手目(3段以上) 成績表

予選

優  
勝  
戦

新  
保

三位  
決定  
戦

佐  
藤

新  
保

佐  
安  
保  
要  
久  
藤  
3  
3

加  
佐  
新  
保  
藤  
要  
久  
藤  
3  
3

	3	2	2	1	3	1	2	手数
④	0	X	0	0	X	0	X	三回戦
不	不	松	新	藤	佐	佐	村	同戦
誠	誠	井	保	田	藤	田	高	同戦
X	0	0	X	0	②	X	②	二回戦
藻	佐	養	松	不	喝	不	大	加
國	藤	田	戴	戰	河	河	高	同戦
X	0	X	0	0	X	X	0	一回戦
木	嶋	守	生	良	加	新	松	参
1	新	藤	佐	保	田	藤	田	同戦
森	田	藤	保	田	藤	保	田	同戦
12/11/10 9	8	8	6	5	4	3	2	1 NO
大	精	安	嶋	佐	加	國	養	新
原	木	藤	田	藤	藤	田	保	松
十	久	善	嘉	春	一	高	礼	吉
久	藤	保	佐	保	高	保	吉	名
藤	藤	保	佐	保	保	佐	吉	加
4	3	3	5	3	3	5	5	3
3	3	3	5	3	3	5	5	3
3	3	3	5	3	3	5	5	3
3	3	3	5	3	3	5	5	3

B 7手目(2段・初段) 成績表

予選

優  
勝  
戦

植  
松

三位  
決定  
戦

高  
綱

植  
松

高  
綱  
久  
藤  
一  
京  
綱

佐  
治  
高  
綱  
久  
藤  
一  
京  
綱

	2	2	0	3	0	1	2	2	2	手数
0	X	X	0	X	0	X	⑥	0	0	X
小	練	井	小	石	二	石	不	中	石	大
笠	練	井	小	石	二	石	不	中	石	相
外	優	勝	向	田	是	田	島	橋	木	高
内	優	勝	向	田	是	田	島	橋	木	同
0	0	0	X	0	X	0	X	0	④	二回戦
当	中	小	植	佐	大	小	石	練	高	二回戦
内	優	勝	向	田	是	田	島	橋	木	同
外	優	勝	向	田	是	田	島	橋	木	同
0	X	0	0	X	0	X	X	0	X	一回戦
八	大	石	石	中	植	佐	小	二	吉	一回戦
内	宜	木	木	中	植	佐	小	二	吉	一回戦
外	木	木	木	中	植	佐	小	二	吉	一回戦
13/12/11/10 9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO	
高	六	小	石	石	植	中	小	佐	当	参
内	高	木	木	石	植	中	小	佐	当	参
外	高	木	木	石	植	中	小	佐	当	参
0	X	0	0	X	0	X	X	0	X	一回戦
正	利	久	四	義	政	剛	義	一	國	名
内	正	利	久	四	義	政	剛	義	一	加
外	正	利	久	四	義	政	剛	義	一	加
初	2	2	初	1	1	2	1	1	2	初2段

(8)

## C 17手 (1級~3級) 成績表

予選

優勝戦

三位	三位
大三	大三
小	小
斧	斧
谷	谷
岸	岸
佐	佐
勝	勝

1) 岸	谷	小
斧	谷	野
谷	岸	佐
岸	岸	勝
佐	佐	富
勝	勝	雄
斧	斧	久
3	3	3

1	1	0	3	2	2	2	1	/	3	3	2	2	2	0	2	2	0	/	計	勝		
0	X	X	④	⑦	0	0	X	0	0	0	0	X	X	0	0	X	X	2	2	2		
植	金	立	不	不	仔	中	佐	武	小	大	石	谷	野	田	山	脚	水	三	共	回		
松	木	石	藏	戰	無	野	藏	从	肥	木	北	津	口	川	田	次	野	有	者	戰		
X	0	X	0	0	0	X	X	X	0	0	0	0	X	0	X	X	0	2	2	2		
植	堆	浴	波	三	武	高	小	大	石	古	佐	木	中	野	柳	伊	野	立	小	共		
松	川	青	不	日	卷	草	木	孔	田	流	野	野	口	石	地	石	石	有	者	戰		
X	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	2	2		
松	毛	石	水	形	小	三	立	佐	研	研	研	研	研	研	研	大	佐	研	中	共		
清	田	九	株	青	不	日	石	川	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	有	者		
23	21	2	20	18	10	15	1	13	12	11	10	9	A	7	6	5	4	3	2	1	NO.	
木	江	吉	平	小	川	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參	
野	九	田	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參	
草	返	税	重	保	正	辰	权	御	義	勝	森	美	義	義	義	義	義	義	義	義	參	
路	竹	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參	
2	2	2	1	2	3	3	1	2	1	1	3	3	3	1	2	3	3	2	3	1	1	級
禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	禁	者	

## D 17手 (4級~10級) 成績表

予選

優勝戦

三位	三位
大三	大三
小	小
松	松
下	下
小	小
研	研
勝	勝

八	松	仔	板
木	下	木	千
林	仙	研	千
下	仙	保	和
仙	和	三	大
仙	和	大	吉
仙	和	吉	近
仙	和	吉	郎
5	4	5	6

3	2	2	1	2	2	3	1	2	1	1	0	1	2	1	0	1	2	1	計	勝
0	0	X	X	0	0	0	X	0	X	X	X	0	X	X	0	X	X	3	2	2
仔	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	回
松	木	山	下	刀	研	野	口	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	者
下	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	者
小	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	者
研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	者
勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	者
斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	斧	者
3	2	2	1	2	2	3	1	2	1	1	0	1	2	1	0	1	2	1	NO.	參
小	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參
木	下	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參
林	仙	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	參
下	仙	保	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	參
仙	和	三	大	吉	近	男	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	和	加
仙	和	大	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	者
5	4	5	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	者

(9)

# 脳の働きが見えてくる

金子満雄

墓で老人ボケ  
を治す（その3）

前回、開基用いた脳リハビ  
リテ老人性痴呆を治療した実例  
を紹介したが、今回は、「一体  
どこで、どのように治すのだろ  
う」という質問に答えよう。

日本広しと言えども、日本中  
に墓会所が無数にあると言えど  
も、そこで脳の治療までやつて  
しまう所は、浜松のここだけだ  
ろう。名付けて、浜松開基セン  
ター。私の勤めている病院が浜  
松医療センターだから、一字発  
音が違うだけである。私の病院  
は、どちら車で10分のところにある。  
ここは知る人ぞ、知る。その規  
模、モダンなシステムからも、  
疾うに日本一と定評を得ている。  
洒落な二階建、建坪150坪  
で、総収容人員は230名であ  
る。とにかく、でこかくて、明  
かるく清潔。

所長の西田先生は浜松市内で  
開業している内科医である。今  
年で、この墓会所も開設十年目  
になり、西田先生も58歳になつ  
て、永く、彼が総合病院に勤務して

ここは全館禁煙である。その外  
にも、色々とロマンあふれる運  
営ぶりで、子供、女性に開基を  
広めようという夢が着々と実行  
に移されている。

私事で恐縮であるが、かくい  
う私の妻も、50歳少し前に、そ  
の女性開基教室に入れてもらい、  
それ以来、毎週熱を上げて通つ  
ている。実は彼女は私の分類で  
は典型的な痴呆指向タイプであ  
った。内気、無口で、一日中で  
も一人で黙々と編み物などして  
いるのが好きで、仲間と一緒に  
時も専ら聞き役であった。それ  
が、開基を始めて以来、以前に  
渡々続けていた書道、コーラス  
以外に、花の一筆画やボランテ  
ニア活動にも出掛けるようにな  
つた。今、墓は3級に至り、  
い、彼女の最大の生き甲斐にな  
っている。目下は65歳、初段を  
目掛け、詰め碁に手筋にと日  
夜精出ししている。もうソチラも  
安心だろう。

閑話休題。

Sさんは、初めてそこへ行  
た時、面食らつた、という。も  
う、50年振りに握る石である。  
西田先生のお兄さんに相手をし  
てもらつて打ちはじめた。碁の  
戦い方は憶えていたが、緊張の  
ためか、中盤でヘトヘトに疲れ  
てしまつて、そこで打掛けにし  
てもらつた。それが2~3週の  
うちに、一局から三局へと続け  
てこなせるようになり、それと  
共に目も生き生きと生氣を取り  
戻してきたという。Sさんは墓  
がら、墓仲間との世間話を楽し  
いと言つていた。3ヶ月目に私  
の外来で「すづかり良くなりま  
したね。MMSが5点も上がる  
というのはすごいことですよ」  
と褒められてから、ますます熱  
心に打つようになつたという。

半年を過ぎて、今や脳機能も全  
く安定している。熱心に毎朝の  
散歩も続けているし、もはや、  
安心だ。

で戦つたこともある。今、彼は  
力をつけて、六段でも強い方か。

私の痴呆外来を訪れた方で、  
若い頃、一寸でもヘボ碁を打つ  
ことがあるという人は直ちに

この開基センターへ紹介される。  
Sさんは、初めてそこへ行  
た時、面食らつた、という。も  
う、50年振りに握る石である。  
西田先生のお兄さんに相手をし  
てもらつて打ちはじめた。碁の  
戦い方は憶えていたが、緊張の  
ためか、中盤でヘトヘトに疲れ  
てしまつて、そこで打掛けにし  
てもらつた。それが2~3週の  
うちに、一局から三局へと続け  
てこなせるようになり、それと  
共に目も生き生きと生氣を取り  
戻してきたという。Sさんは墓  
がら、墓仲間との世間話を楽し  
いと言つていた。3ヶ月目に私  
の外来で「すづかり良くなりま  
したね。MMSが5点も上がる  
というのはすごいことですよ」  
と褒められてから、ますます熱  
心に打つようになつたという。

西田先生と久しぶり話し合つ  
た。私が、「60歳すぎまで、何  
の趣味もやつたことがない小ボ  
ケの人に碁を覚えさせられるだ  
ろうか」と尋ねると、彼は「ま  
ず、9路盤で楽しむことなら、  
割に可能性があるだろう。その

後、例え普通の19路盤まで進歩  
しなくとも、頭の体操としては  
役立つのではないか」と答えた。

そして、かの趙治勲が、「9

路盤では、すでに無限の宇宙が  
拡がっている」と言つたことば  
を受け加えるのを忘れないかつた。

そして二人の話の行き着くと  
ころは、

「やはり小学校の1~3年生  
たちに、一局から三局へと続け  
てこなせるようになり、それと  
共に目も生き生きと生氣を取り  
戻してきたという。Sさんは墓  
がら、墓仲間との世間話を楽し  
いと言つていた。3ヶ月目に私  
の外来で「すづかり良くなりま  
したね。MMSが5点も上がる  
というのはすごいことですよ」  
と褒められてから、ますます熱  
心に打つようになつたという。

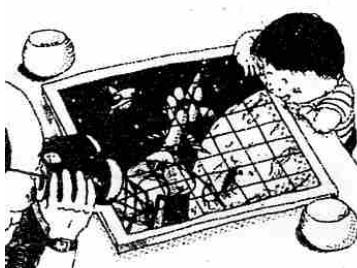
が約束されるんだけどね」  
であった。(つづく)

◇ ◇ ◇ ◇

著者紹介(かねこ・みつを)  
昭和9年長崎県に生まれる。  
長崎市で原爆被爆、父、長兄を  
失う(11歳)。昭和39年長崎大  
学医学部大学院修了。(医学博  
士取得)昭和42年~46年東アフ  
リカ、ケニア、アメリカ(ジョ  
ージタウン大学)に赴く。昭和  
48年浜松医療センター開院と同  
時に脳神経外科部長就任。現在  
副院長。昭和60年以来、日本脳  
出血ワーキショップを主催。

著書多数。今年4月、「ボケな  
い生き方革命」(海竜社)刊行。  
趣味・バイオリン演奏(浜松  
交響楽団に在籍17年)、開基、  
将棋、ゴルフ、花の写真撮影、  
詩、絵画の鑑賞。

(10)



棋道

7月号より転載